



明治記念大磯邸園構想の懇談会に行ってきました。

大磯町国道1号線松並木沿い。旧吉田茂邸、城山公園の他、旧伊藤博文、大隈重信、陸奥宗光、西園寺公望(池田成彬)邸が連なる区域が国営公園に指定される。邸内に入ると立憲政治を始めた先人たちの息遣いを感じられると思う。国を導く彼らは毀誉褒貶家ではあったが、現代の訪問客にとっては様々な歴史的な好奇心をかき立てる場になるのではないかと。太平洋岸には太平洋自転車道がある。西(小田原箱根方面)に延伸・整備を進める計画もある。絶景の回遊廊になればいい。大磯漁港も変わる。「道の駅」の海上版「海のおアシス」も動き始める。町では観光客が流入することに不安や戸惑いを覚える人もいる。行政の進め方の不透明さに不信を鳴らす方もいる。出席者のほとんどが高齢な方だった。未来に繋げようとする話にもかかわらず、学生や20代以上の働き盛りの出席がないのは寂しい。



早朝点呼担当者紹介

何事にも謙虚で冷静沈着なプロドライバーらしい人だ。
静かで理路整然とした話し方はどこか研究者のよう。
家庭の事情で大学進学をあきらめ、最初からトラックドライバーの世界に飛び込み50年以上乳製品、陸送、ガスローリー、自動車部品等の輸送に携わってきた。運行管理補助の経験もある。
今年、運行管理者試験に合格した。
69歳になっても自己研鑽と学習意欲が衰えない姿勢に感服した。
今後早朝点呼当番の一部を担当します(詳細は後日)

昭和42年県立秦野高校卒。奥様とふたり暮らし、平塚市在住
* 当社はひげを認めていないが、早朝、外部との接触機会がない職務でもあり特例にした。



最終定例会(臨時開催)



- 1 安全運転、労災事故への注意喚起(坂中)
- 2 貸切運送業者の生きる道について(河面)
私たちは荷主様の勝利に貢献する物流傭兵となる。
私たちが評価してくれる荷主様のために働こう。
評価を頂くために何をすべきか。
付加価値向上委員会はその目的のために存在する。
- 3 労働時間の基本を押さえよう。(北社労士/左写真)
賃金規則改訂背景と年間労働日、所定時間のメニュー、働き方
- 4 付加価値向上委員会(AViC)始動メンバーの内、3名が登壇
委員会発足の趣旨と理解と協力をメッセージに託しました。

転落骨折した委員長・法元彰君の切なる「安全第一！」宣言で閉会。

今月のひとこと

挨拶は相手の立場を尊重する礼儀である。
挨拶は相手に心を開いて向き合おうとすることだ。
挨拶は相手を尊敬・信頼し、一生に一度会う機会を得た一期一会の姿勢だ。

